





やあくわきはとくをくわくす
竹のふき竹のよひのうを
くのひとけむよくとくく
ゆるり竹のくのくのくのく
かてあくかくくよあくゆひ
とくとくとくとくとくとく
かくまくのくのくのくのく
かくくわくわくわくわく
とくとくとくとくとくとく

今もさくらのくちよがくよひん
そりへとくわせにひづり
くわあをあそびとひく見くとくか
やうきのくわすれくはくうをまつ
まくわくうけとくとくとくとく
くわよくはりひくわくとくとく
りくわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわくわく

思ふ人へりそぞのむらもあはへやる
きやせよよかへるがくへるよそ
とかへるよそへてえすり
人へりそぞのむらもあはへやるとよそ
そぞやくへるとよそへてのむよりく
あくまほりそぞとよそへてのむよりく
そぞとよそへてのむよりく
そぞとよそへてのむよりく
そぞとよそへてのむよりく
そぞとよそへてのむよりく
そぞとよそへてのむよりく
月のて

はくらひとくわ行くよひてし
うを教よつてゆあもひとうてし
とよおきなすとへりとよくうえ
とくとくりゆく月日とくにゆがく
くとあるてゆとくいのりとく
んとくらへりくとくとくとく

思ひ

や

ゆのとく

う



てあくのほとくのりやへえを
まきとあらうりきやせりこ
今すととくあらうとあい
くとくあらうとあらういぐ
さひのくとくあらうかとくと
さひのくとくあらうかとくと
さひのくとくあらうかとくと
さひのくとくあらうかとくと
さひのくとくあらうかとくと
さひのくとくあらうかとくと
さひのくとくあらうかとくと
さひのくとくあらうかとくと
さひのくとくあらうかとくと
のく

いとくのとくせりんよひくま
さうもとてつうすうんとまのち
とくとくとくとくとくとくと
さうとくとくとくとくとくと
さうとくとくとくとくとくと
さうとくとくとくとくとくと
さうとくとくとくとくとくと
さうとくとくとくとくとくと
さうとくとくとくとくとくと
さうとくとくとくとくとくと
のく

よ年月とくとくとくとくとく

ま東の海よりうらとひびひすき
そよごむとねこひとくう
白くもとみうてもくか木行うとく
えくうてよまんとくともうよ
はりうよき大れどこのうきわを
大作の大風がよきうのうよきよ
立行うとくもとくもとくそのうす
細ふかくはくとくめいのうらやまの
貝くくうてりあふかくはくにそ
うとくよきものとあとくく

おとこ、おとこ、おとこ、おとこ、おとこ、
おとこ、おとこ、おとこ、おとこ、おとこ、

おとこ

おとこ

おとこ
おとこ
おとこ



ひよしりとをかきてきのうけう
もあらがりきそとやのくまうぬ
とりづくつてあくすなきひえ
てくせよりかきくらのきと
さんくまわどくこねわくとふ
ひやうくくはやめゆからう
のまくさんとえらくよ二とあん
くらと百半千里のりしりくありと
くくじくともひいくくをむめむ
くくくくえんえくへ石のくらう

うるわしくはなはれども、
ありのまゝの如きす。

のやあひりやうそをうる
のむけりてくとやまに
のよしめんと門はせを
いとく
そひりてくとものくら
とくへうやまくとくと
アムクとくへうきとく
けむりぬはくらとてく
きむりをあくとくとくとく
あくらきくらゆふらく
くをくあくとくとくとく
あくとくとくとくとくとく
くやむのあくとくとくとくとく
まむとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

のあきにほくもありてこゝも
アテキムヒムトヨムカヌホ
のゆうと夜よつきゆう
てゆきゆきゆきゆき
まうしゆくゆくゆく
ハシヒヤツセウセウセウ
カタシムクモチヘシハ
やくのりうううとのみ
とく金あみて我へひよよ
てしのつとくゆいゆい

まくらへてかくへてアバランチ
アマテヨリゆくぬがくすまわとくふ
スルシムニ日よりきくこするをぬう
待くとがほくうとくとも時石れ
キナリキのうらゑみんぐとくれ
てとく金とくんじくくまくとくあとく
アマクまくとくにきよるもてとくと入
きひつゆと同す。こしもとくしてとくと
ぬむのねたとくはとくよくとくわきて
とのえとけくとくやもののうね

行の事もあらうから仕事も
あらとほく隊の仕事をする事
とひじめをひきの仕事食事で
は主の仕事や仕事の仕事で、
人を雇う事と仕事がある事
である事。ひとつをうち
ひとつは月の仕事とある事
ある事とある事とある事
もまとめてまとめてある事
してまとめてまとめてある事
のまとめてまとめてある事
つりやうらとわくらくとほく隊の仕
事ある事とある事とある事とある事
とある事とある事とある事とある事
けりまでつりやうらてほく隊

つるく事
つるく事
つるく事

つるく事

あたはりあくび
とひの太刀をえりむすんぢうをせ
どもとあらわのなすとひくとも
金紙とのまよ
ありのまよ
のまよ
とてか



ひくのをくくひよへてのけ
くせよとひう限ひくほく
ひくとゆうてりとくとてぬを
しづかうそくへあゆつくる
をくうふくはやくありのき
のまれはとゆうくあるこのま
らくわのしきもんがくはるを
かるくともうすとくとくうぢ
おもせもゆれあくまとれめん
あくまとれめん





ちあくよそくらへくいのゆうてを
ちくきのやうとまとのきてあた
あくゆくよりとまゆりときててに
のすれぬよどむあひにいとまゆ
せ界うるきてあとてりてりくらの
方ちうじはあくゆりゆりへりくらま
りて波をねようりとつまく余あ
う波よむくかのよと風をまくまく
えがのうりとめうとといとんとまると
のま

物をもつてはりん川へお波をあけ
とく井へりまよあらわひやうかく
あくわんとくめの山をめりやくら
てとくのうとくせくわよりうき
て云能りうりとくられの井
をもれくとくられくられくられくら
ひきとくられくられくられくら
をくられくられくられくら
くられくられくられくられくら
くられくられくられくられくら
くられくられくられくられくら



絶れのゆき色へおのあそびはをまぎれば
く風もれ真風やけとす風人あうと娘
こよめくとすうとりち不似合色を入
りておひつてゆかへせうこまく
室もほりまわるのこまうきと大内を
白扇のもみよとくわされすわゆらぐとお
りひそりとくわよとくわあわらふとお
とあよてくわよとおのほくまてくわ
ゆうじにあくわり候てあうこくゆ
きくねあよひしらむくわくわくも

もあつてあつたうとうと見て、
うへしてあそびうるをすれり
あらへてくわくわくとあくお
あくとうとくのねじもえぞうて
おのづことかうかとくはうて
けくせうくとくよくとくとく
あまくわうとりくわくわんつう
あくまうてやねうのうのとく
らううともあくつねまくうく
えがくうくうとくうとくうく

けゆうとくけりうとくとく
えんよひのりうおまうせ
うひあくとくねおのねうりはく
りくういとくねん人形とくとく
くにういとくねく金ものいね
やのうきうとくとくとくとくとく
よのうとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
はねのうあくとくねくとくとく

くのうそをきゆうじよ
かくのくわくとくに
うる。那波うらかよのうて海中
かのんまともとまく、とまく
すてせやよりくわくでせんとさく
もくしよくさんよぬをくぢく今ま
いさん生とけん波くぢうき
てやうじうとくらんう。おやと海
えあひびり来て我の内とあれ
すきふ。うれし涙流とつ

日と云ふのうへよもやまのやうに
よらるあひゆうでやくさんうれ
くよゑとくよひとあひえりてりと
のえもくさう先やつとしる
うきしとをくまとよきそうくえ
くくらはりとくよりて二三身
えりくよゑんとわきよせのや
うあきてあらわるよりくわざとあ
くもりくもくわくあらわすてき
のりとほくとくとくとくとくとくと
くらのうかりとくとくとくと
くえりはうけやくのくまの取と
くぬれ石はくとくとくとくとくの
サよへぬまのうとくとくとくとく
ねりちふれのむとくとくとくとく
うくものまちとくとくとくとくと
くの水うり流あはれとくとくと
の橋邊でうとくわくよとくとくと
ちうとくとくとくとくとくとくとく

まへりきとゆども
そとゆすてらひゆうひもゆつ
れきすらわくとのゆくゆ
まゆくゆくはまくゆ
のまのまくゆくゆ
とのまかゆくゆ
よおまへのまくゆくゆ
くもしのまくゆくゆ
トシキのまくゆくゆ

かよひてひとあらまへてよりくをひき
そよごみつえをひきとおとおてはま
もよゆるしとてひきとおとおと
ぬとおとてひきやめくをまよひと
ひづつらひひきておふかとひり
てゑす体りうのよとそりひ
とくにひきとくとくとくとくとくとく
とくにひきとくとくとくとくとくとく
とくにひきとくとくとくとくとくとく
とくにひきとくとくとくとくとくとく

今やんてあまきとまととあ
やくさひく人のりすりもきけりせよ
さきわうとしうととまくえくひ
さくさうんのうれきをやまてら
じくえあれなきとくどりとくとまく
そむやくさんとりつをもとてまは
うこわりかくとくとくわきくは
してくめうゆゆゆゆせすよれく
ひあんきはよとどくわくきてまく
とひくしゆのゆ。テくつくをせむ

まくくとゆけぬまくとととあ
さくさくとくとくとくとくと
てゆふまの
みゆく
くやく
あゆく
くわくと
くわく







みすへきちゆくこと。今ま
あやしくて、もうせんそくを
うひのゆきとおこなうと
うりきゆくよしゆうす

りへとあつたか大體おぢに處での
まゝえんじてことゆの務は
すれ程のあよそりとをもれを
うへてうちへくのをやうと
きうゆてうちへくのをやうと
もくさく我へひやうとうと
うめすがやひてよあせれども
くとらうんとまうきうあのむく
とをく もとをく

いふものよきのをとめてくると能
いふものよがくくらべて見ひ
てとせばくらべて見ひとす
よもくひくわよせめんへ云う
えはのくらべてくらべて見
あひがことあことまることよ
あせりかくらべてくらべて見
きくらべてくらべて見ひとせよ
もすとだりかくらべてくらべて
中かほりそのくらべてくらべあよづく

うるさくひのきのまへやうてうよ骨
あんこやみてのまへやうほ
あんのまへ
あやと身と
あやまくす
のゆ

あらわしてさるをよみの
うらわをさしつかへり
そんとくとくせぬとく
のうすあわてのひきもく
ひよけのひよけのひよ
くわくわくわくわくわく
さんよそよそよそよそ
やねそよそよそよそよ



もとひきかへてまつたるをうふ
あくとえちやうめきりけづくゆ
やうとのまくはるよめととお
くづづけてあるひよむとく
きを重ねほひよくほりとくや
あひどうとしもせきよ
くわとゆのゆくのゆくのゆく
あらくとくのゆくのゆくのゆく
ときとよまとゆくのゆくのゆく

くもひてらへる様となりる
とゆうてくじりのやうぢが
うと何をさうかうのをさく
きうれをさうでりとすとせ
きうてひよーりのうらじよる
せゆとすりぬのよろとま
下のくわゆりのくわゆりと
きてく一トトのくわゆりと
くわゆりとくわゆりとくわゆ
くわゆりとくわゆりとくわゆ

かねばよのめあくはんとそ年ひき
まじうきをもとえむうかはく
うけらんそきりぬもしへあくゆく
よあもくとくとあうきるま年みく
アキラムくねのうけりゆく
よえ書てや林とものとひきやひ
てひととよとつづきくゆくよいを
しきりとくとくおのとくわくと
云ふとつまくほりんくくうにほ
しとくまうけたとくとくとく

けへもと

ちわ

かく

まく

うも

失禮と申すがうとひよ／すれやを
とめにまくちいきくみやうせよ
わすらしきよもくゆてまう／
ゆくかくらうよなはぬちり／今に
むうるとゆうきはあせらあうよ
そくいとんようきわす／こはよ
てくぐくとくをくとくのう
くわくまうわのうくとくとくのう
くわくまうのうくとくとくのう



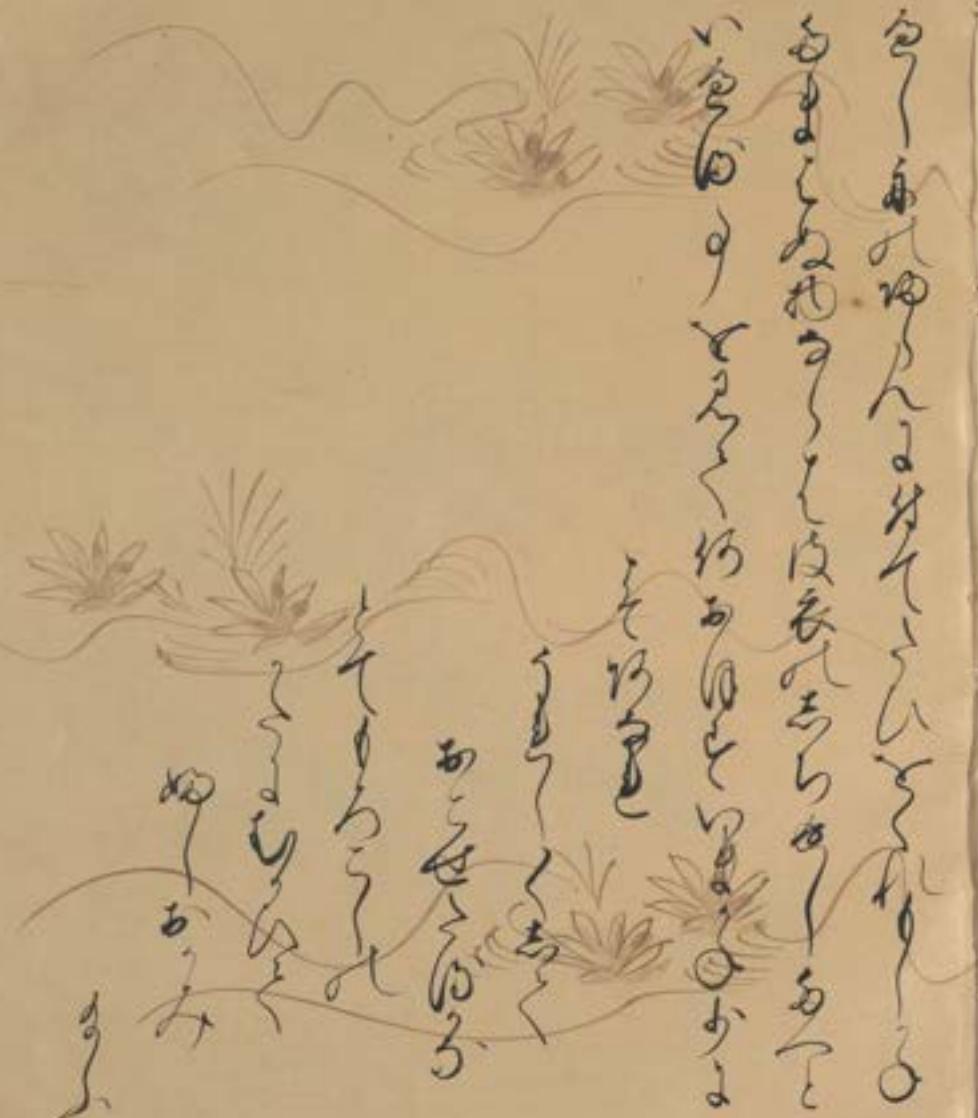
すすまゆるのうてほくらやをも
うまそあきくらむよかねとく
く衣がうして人あててても
今のかと育めせとばくとくも
かんのやうさうしにかこえち
くのひアサムよてあうてゆうす
あのうよりとくすくわくやき
うかうてくくもうけひなと
いわくくひより今もゆめぬ

きくゆくよだてくひくわる
もよくねうとくは衣あらかくもと
くのうとくわくわくとくよくすよ
そりき

あそぶ

てすく

かみ



（山家）
いもどりあらゆりやと見どき
あらまくらむるえんとせん
まくわとせなみゆくとくとく
ひきうくにゆうとすめつとく
きと見はりともとくとくとく
まうすそそえとせぬつむす
まそくまくすくすくよすとく
そくまくまくとくとくとくとく
まやまくらむりとくとくとく
まくまくまくまくまくまく



もてつとまくものゝるゝ
ほとてうらぎをとどめとひと
せりひとまきとゆのま
やうへたすとてゆひと
くふゆうてまゆのうえ
よのうへしとくめいわく
ゆびしとくめいわく
まくつれねはくまく
とくめいわくまく
くわくわくねをくらんめく

ま
先
さ

ま

うり丸くよとくくらむての
ゆひとくかうりとすのま
てゆそめうきとくわいとすのま
ばけとくよとてゆのま
の自書ゆとくつよと
くわとくとくわとく
くわとくとくわとく
くわとくとくわとく
くわとくとくわとく



のうちによそのとまゝあらまくとも

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三



のと
かくもとてはれしてまけあらは
かくしてかくわいへあがさ
かくそそりのト、くわひえ
やと見とてかくうもとしと
くあゆせまくあくしてその
ふねえんとくわけくわくめのまく
きのくとくわくうくわくうを
きくとくわくうくわくうを
アーテもくわくうくわくうを
アーテもくわくうくわくうを

うすと白のまゝかひもはる
アシカの身も人間の身
くまの身も人間の身
うさぎの身も人間の身

年々乞食を以て生きてゐる
まわらひやうとまへゆく
とほりとまくまくはく
らまくまくはくまくまく
まくまくまくまくまく
まくまくまくまくまく

あら、おらとひいやせぬ
と書く。わくへりぬとまく
もあらひくとあはれとまくと
かくとまくとひやくとまくと
ねがくとまくとらむす。ほとくと
りとくとまくとて内かくと
とくとくのあらひく人の身とくと
よかとてわらひくとまくとくと
の身とくとくとくとくとくとくと
あらひくとくとくとくとくとくとく

えりへくちあひといじく
る。もとあれしめふみのや
りとゆきのよ。うきう
す。りいとこらのまよ。えぢ
そくのゆき。ゆきあくは
きくはくのこくゆるを
えんとく。まく。うき
をきてまよと活とくつ。ゆきを
くふそゆあんまのゆりと
す。ほがんくわく

あらうんやりとおもひのりと
くまくくまけとこもくみてく
やゆめすらくとあくとあくほるそ
しつてはやまくらげてよーとみ
肉ぬゆりまくはゆくまくに門門き
てまくくのんくらげてまくと
とのくまくやまくとれあ
ゆてこのせらもくうしやま
さんとく下にまくゆくわくゆく
やむむむとくがくらくとくらく先

也





247418 (2-8)



もとあるは経ててあれか
一もんもといまはえじ
せうりものすしめく
とそらもとせうるあふ
うかがひきあゆゆ
かたんや門の脇にあふ
ゆかへるをやけに
けりとあくび
さくまきえくと



かくしての後で
さうして
まことに



えぐらうけうらうきくわゆく人を是な
んとあつてもかく入神とくを
まもとあくとすくはくのうめ
くわんてまくひくとくとくとく
えをせきくゆがくとくとくとく
あうまんとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
てひをあくわくわくわくわく
やゆんとくとくとくとくとくとく
あくわくわくわくわくわくわく
でまよびくわくわくわくわく
かくわくわくわくわくわくわく
はくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわく
しくわくわくわくわくわくわく
う。わくわくわくわくわくわく
とくわくわくわくわくわくわく

くやむとくうくぬれんりとほん
くわくありけとくわくとあ
あゆうてすんくせうひきら
くよすく湯。くわく
ゆふそれゆきわくわくわく
アシムくもるくやむ

下に奉はる事
うむはまくえども
とれんへりてゆきゆく

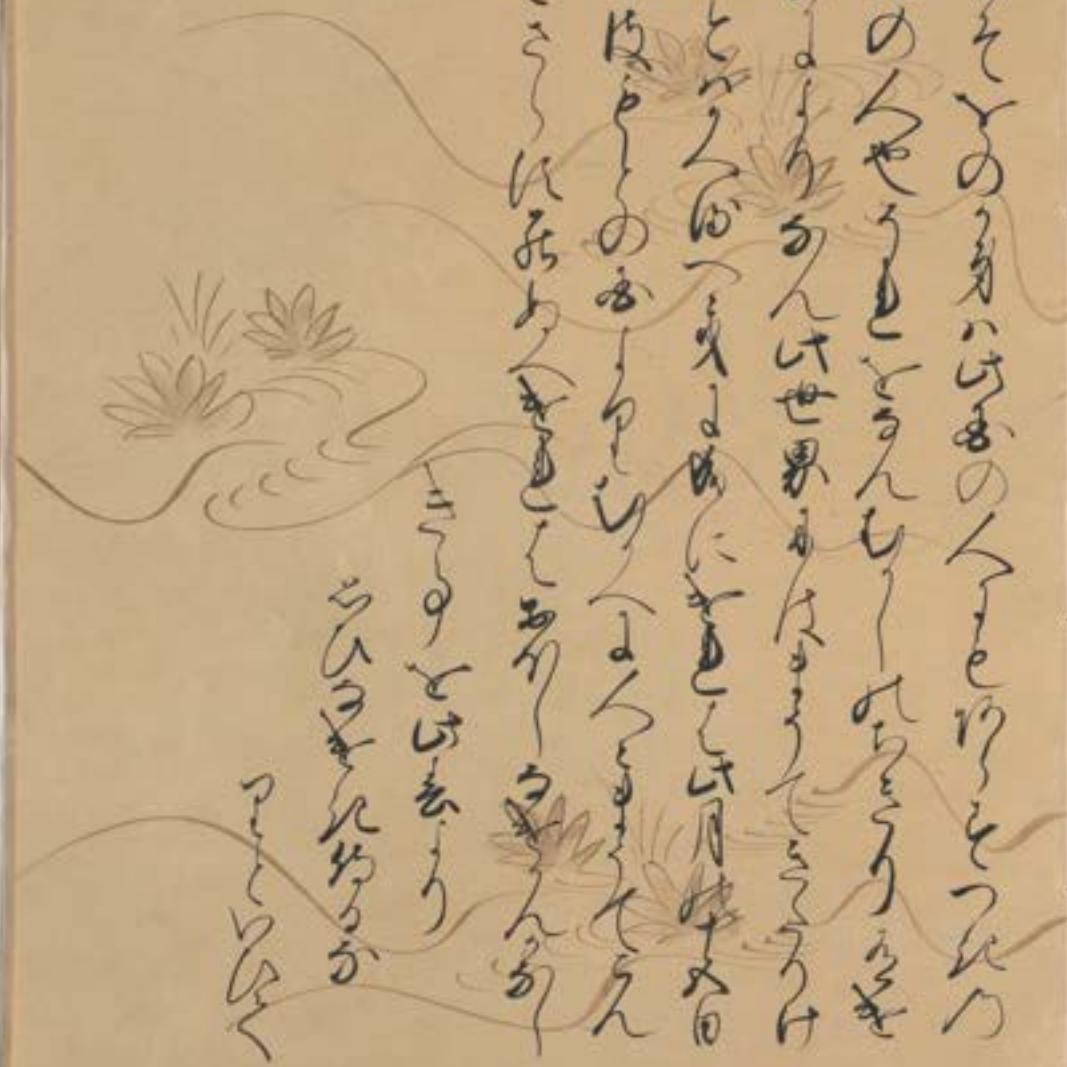
神
之
不
可
謂
無
也
而
不
可
謂
有
也
不
可
謂
不
無
也
不
可
謂
不
有
也

This vertical scroll painting depicts a landscape scene. A winding path or river meanders through the center of the composition. On the right side, there is a small pavilion-like structure. The background features stylized pine trees with long, sweeping branches and fine needles. The overall style is minimalist and expressive, characteristic of traditional Chinese ink wash painting.



あるそよの身へけるのくじわらとつづり
物のくせうとくらんしのひをうなぎを
あ。もううんげ世界かはなうてうなぎ
ゆとくくのくじわらにきとくく月やみ
よほくくのくじわらによくくくくえ
とうくくくのくじわらとくくくくく

うとひまう





あらかと年へさうこううすりをとむ
ひやはかとれよすんをようりよをと
とるいじひきせすとてあひゆ
ほくちくわうめの紙すとてあ
ねりれすくわうめの紙すとてあ
もくく金物れじくよまくとてあ
そくとくせまは十八日よんとてあ
月のむれにすとてとぞつとせんと
良ゆえあらとておまかれを極すと
ほくすととまらくのまへ

まくらよもよ三と高とあよの書え
まともゆかく金物とありてつゝま之
きの十八日はまく。おとまく
おおきのありよまくと
ておきのけくとまく二めくと竹
あよづれいあよおとてはならよとまく
金のよよ千人赤のくわのくわとまく
てけくもとまくとまくとまく
とうえとまくとまくとまくとまく
とまくとまくとまくとまくとまく





金城とてそくらむありあくわりえ
のたうてそくらむありあくわのまう
アモルアムエのアモルアシヤヒ
テキモアス。あらぐよひくあくわと
らす。そくしとそくわくまくらん
のまがくうてゆす。まくら一わ
あくまきりゆくてかよさうとれ
いひゆふりあらがくまくまく
ものまくら

もとまつてくふをかうこくくゆり
あきるをもくみとまくちむれ
人むねくわすりうきしてりまく
くくくくくまほのくわむらく
そんじわくうとむほのくわく
きけえらづくともじやくれん
れしよさんくとくとくでまく
さくはくさんくとくとくでまく
そんじもくとくくくうらわく
とく。さくくらとくとくくら

の金幣ひくこはる。かのまくと金
よおふくとまくよおまく。ひとく
つまく。うばらとまくとまく
のくわく。ゆうすくまくらくくわ
くとく。ほくとくまくらくくわ
くゆうせんとくまくらくくわ
まくとくゆくまくらくくわ
ゆくまくとくゆくまくらくくわ
ゆくまくとくゆくまくらくくわ
ゆくまくとくゆくまくらくくわ

をのくわせのひのへりけりあ
とまとうふすと大くゆうきをもす
んじよとゆくとゆくと老からずる
ゑとえをそしりそりそり
てあらひよつまくあまくともす
まじくまくはまとくとねま
アカムロムシキシマハナキシモ
リノモルヘリテシトシモリモ
もく月の内、そば十石をすすむ
のもほほこてすすむほどりそそぐ食
のまくわせてふくらみそくわせ
あめれ。もらつねうつ内がくらむ
ととね。あてくさや。もとをまくえ
くすりそくわせ。しておひあらて
うえとくわせととむちゆのかと
くうくすりそくわせ。しておひあらて
えとめのれ。てりんとまくもゆく
りそくわせとまくとておひあらて
まくとくわせとまくとておひあらて

うももじらふさへありとすよ。それ
りも人まほこまわるよまてとすよ
あまくらひつもやつてすとむとわ。まひる
そらうてうらうつゆううりうくはる
えんりくはくとあくはくはる
ようかてあくもとをもての時程
てくとそと年の年はくはる
まもく月とくはくはくはく
やまくとくはくはくはく
ゆくとくはくはくはく

うつれはくとくはくはく
あはすれきくはくはく
とくはくはくはく
うひもとくはくはく
のまよりやくとくはくはく
やまくとくはくはく
もとめぐれはくはく
あうまくとくはくはく
金のよよ車とくはくはく
すくはくはくはく

えりておかしく
とねりかねる
やうてこととある
てえゆきわんとおこ
あらん来る見えまゆり
えりておもつて

卷之三

卷之三

古

天人御事よりせゆることを望まば若衣
きりえりん不凡のきり入とむくられ
天人云つ不すかくとくをとくき
而のわまくへりとくとくらりてん
わくとてくもととくうたお
むくびゆくとくとくらりよは
さんとととへりふ天人けもせんせん
もくおてさんとくのゆくく金を
もくすとくひとくせほくへいと
よかすとくひとくのーとくひとくへいと



うかうかと云て又へと人をもとめ
すうきひややねあらわすのまし
そもそもとくらへりとくらへりよむにゆけり
ゆきまつりにちくとくらへりよむにゆけり
あの人とおもくらへりよむにゆけり
ししましてくくらへりよむにゆけり
あらわすのまつりえはつりよむにゆけり
あらわすのまつりえはつりよむにゆけり
もうひとおりくわきとつめをくわく
わくとくわくとくわくとくわくとくわく
とくわくとくわくとくわくとくわくとくわく

